

2009（平成 21）年度 日本対がん協会「奨学医」募集要項

- ◆名称 日本対がん協会「奨学医」（略称「がん奨学医」）
- ◆趣 旨 胃、子宮、肺、大腸、乳がんの集団検診普及のため、これらの部位の専門医師を養成する。このため下記医療機関で研修する医師に奨学金を支給する。
- ◆募集人員 12名以内
- ◆研修期間 3カ月または6カ月。
- ◆給 費 1人 3カ月50万円、6カ月100万円
- ◆資 格 医師免許取得者で、原則として（イ）満35歳未満の者（ロ）臨床研修を終了した者。

- ◆研修機関 下記の6医療機関とし、研修機関への申し込み等は本人が行なう。

【胃・大腸】

国立がんセンター（〒104-0045東京都中央区築地5-1）

癌研有明病院（〒135-8550東京都江東区有明3-1）

大阪がん予防検診センター（〒536-8588大阪市城東区森之宮1-6-107）

愛知県がんセンター（〒464-8681名古屋市千種区鹿子殿1-1）

【子宮】

癌研有明病院

近畿大学付属病院（〒589-8511大阪狭山市大野東377-2）

【肺】

国立がんセンター

国立病院機構四国がんセンター（〒790-0007松山市堀之内13）

【乳】

癌研有明病院

- ◆研修実施機関における指導責任者

- 【胃・大腸】▽ 国立がんセンターがん予防・検診研究センター長 森山 紀之氏
- ▽ 癌研有明病院消化器外科部長 山口 俊晴氏
- ▽ 大阪がん予防検診センター副所長 山崎 秀男氏
- ▽ 愛知県がんセンター消化器内科部長 山雄 健次氏

- 【子宮】▽ 癌研有明病院婦人科部長 滝沢 憲氏
- ▽ 近畿大学医学部教授（産婦人科学） 星合 昊氏

- 【肺】▽ 国立がんセンター中央病院（肺診断） 金子 昌弘氏
- ▽ 国立病院機構四国がんセンター副院長（呼吸器内科） 新海 哲氏

- 【乳房】▽ 癌研有明病院乳腺外科部長 岩瀬 拓士氏

※上記機関で、他の科での研修を希望する場合はご相談下さい。

- ◆条 件 ①奨学医の期間終了後、奨学医修了報告と、機関紙「対がん協会報」用レポートを提出する。研修で習得したことなどを内容とする終了報告はA4用紙2枚程度、協会報用レポートは1000字程度のものとします。
- ②日本対がん協会が実施する「がん相談」などの協会業務に、奨学医期間中または将来、協力を求める場合がある。この場合の条件等は、その際に協議する。

◆宿 舎 各自で確保すること。

◆提出書類

(イ) 日本対がん協会会長あての所定の申込書

用紙は日本対がん協会本部または支部にあります(本部に電話、ファクス、メール等でご連絡をいただければ、希望者第本人にお送りします)

(ロ) 医師免許の写し

(ハ) 現在の勤務先責任者(医療機関長または直属上司)、大学の指導教授、日本対がん協会支部長のいずれかの推薦状。

◆申し込み 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1
有楽町センタービル(マリオン) 13F
財団法人 日本対がん協会 電話 03-3571-5203
(担当:三船・大塚)

◆選 考

研修実施機関が受け入れを決定した後に日本対がん協会本部で最終選考する。なお、採用に当たっては、現在もしくは将来、集団検診に従事する医師を優先する。

◆締 切 平成21年6月5日(金)
=締め切りまでに希望者が定員数に達した場合はご容赦下さい

◆採用通知 平成21年度中、随時

以上